

法ヲ挑撥セシ事一ヲ期ス。

大正十四年三月十五日

日本労働総同盟神戸聯合會

第十四年度大會

宣 言 (草案)

惟小我の神戸市は日本に於ける重要なる労働都市であつて、こゝに日本労働
同盟同盟神戸聯合會は、最も勇敢なる闘争を脱し、労働階級解放運動
に身命を賭し、未だこゝに我等は終始一貫、不折不撓、現存資本主義社会組
織と我々人類共榮の理想、實現にむかふと論議すべきことと喜ぶべき事あり。

今、無産階級組織に于ては、労働者は日本労働同盟に於て、略々決定せられたる
この方針に基き、我等は先ず神戸地方に於ける各種労働団体と提携の規程を
増進し、以て政党组织の基礎を作り進んで非組織労働者との他、糾合を以て
是れを断呼する精神と方針とを有するものとするべきなり。此の際に於て
在る政界者や又運動家は、必らずこれまでも正義を張る途りかへて無産
階級との提携を何れ大衆を偽稱し、自己の利益を回るとするに違ひない。
斯く如きものに對しては、我等は何れ迄もこれを排撃し、一般大衆の眞實な方向を
明確に指示するに肝要である。又一言餘りと言へば、大衆の事は吸ふとして